

令和4年度 第2回たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和5年2月27日（月）午後1時30分～午後2時40分

場 所：たつの市役所新館4階災害対策本部兼大会議室

出席者：委員11名、事務局

傍聴者：なし

## 1 会議内容

(1) あいさつ（市長、会長）

(2) 議事

①第1回たつの市行財政改革推進委員会委員意見に係る取組方針について

②令和4年度の行財政改革の取組状況及び令和5年度当初予算の概要について

<b>【協議事項①】</b>	
第1回たつの市行財政改革推進委員会委員意見に係る取組方針について（資料1）	
事務局より、対応方針等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
委員	1年間で新規職員を何人採用していますか。
事務局	令和5年度採用予定者については、事務職・技術職・保育教諭等、各職種の合計で20名強を予定しています。
委員	<p>指定管理者制度について、以前も意見しましたが、はつらつの湯の管理を社会福祉協議会が指定管理者として運営しています。</p> <p>当該施設の運営に当たり、自助努力により収益を上げたとしても、同協議会にて活用できない仕組みになっています。</p> <p>この状況は、以前から意見していますが、再検討していただきたいと思います。</p> <p>自助努力により、施設利用者は多くなっており、利用料収入も多くなっていますが、社会福祉協議会としては収益を使用することができません。</p> <p>また、施設がかなり老朽化しており、60万円以上の修繕については、市負担となりますが、60万円未満の修繕の場合は、指定管理者が指定管理料の中から支出しています。</p> <p>以前、約350万円の修繕が生じた際、指定管理者が次年度予算を使って費用を捻出し、修繕した事案がありました。</p> <p>市では、指定管理者が修繕したものなので、負担できないとのことで指定管理者が全額負担しました。</p> <p>自助努力により収益を上げた場合でも、指定管理者がその収益を活用できないということは、難しいとは聞いていますが、再度指定管理の方法を検討いただきたいと思います。</p> <p>施設老朽化により今後多くの修繕が見込まれ、また、利用者間のトラブルの仲裁、苦情処理や入館禁止命令も出したことがあります。また、死亡者の対応も指定管理者が行っています。</p> <p>社会福祉協議会だけでの管理では限界があり、そのことも踏まえていただき</p>

	<p>いと思います。</p>
事務局	<p>昨年度も意見をいただき、担当課と協議させていただいています。</p> <p>指定管理の考え方としては、収益を上げていく施設、本市で言うと道の駅があり、このような施設は公募施設として、入札のプロポーザル（企画競争入札）などにより競合させて指定管理者を決定します。</p> <p>はつらつの湯は、市の取り扱いでは非公募施設として、相手方を1社限定にしています。収益を抜きにして地元で根差した施設として運営している施設です。</p> <p>収益を上げていく施設として考えていくのであれば、公募施設として考えていく必要がありますが、非公募施設であれば、収益を度外視して考え、指定管理者は地元の方に一番理解のある団体を選定している状況です。</p> <p>また、今年度の指定管理者委員会での内容が把握できていませんが、今回の内容は担当課へお伝えしますが、当該施設の取扱いが公募施設か非公募施設かどうかという部分から考えていく必要があると思います。担当課からは、当該施設については、指定管理料なしで、利用料収入だけで運営できる施設ではないと聞いていますので、その部分については、課題として残ると思います。</p>
委員	<p>公募・非公募も含め検討いただきたいと思います。</p> <p>このままだと、社会福祉協議会として実施している他の福祉業務に支障が出ています。</p> <p>はつらつの湯の市担当課は健康課ですが、社会福祉協議会が自ら管理していかなければならない状況で、また、専用駐車場がない状況でそれらの苦情対応もしないといけません。施設老朽化への対応、利用者間の苦情にも対応しています。</p> <p>一度、それらを全て踏まえて検討いただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今回の件について、担当課と協議し、どこまで反映できるか分かりませんが、調整します。</p>
<p><b>【協議事項②】</b></p> <p>令和4年度の行財政改革の取組状況及び令和5年度当初予算の概要について（資料2）</p> <p>事務局より、取組状況等の説明をし、意見交換を実施。また、新型コロナウイルス感染症の5類移行を見据え、ウィズコロナにおける行財政運営について意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。</p>	
委員	<p>市民病院の経営状況はどのようになっていますか。</p>
事務局	<p>資料P12のとおり、令和4年度第3四半期の経常収支、医業収支はともに黒字となっており、また、年度計画の数値を上回っており、新型コロナ患者の受入を積極的に行ったことが要因の一つとして挙げられます。</p>
委員	<p>毎年5億円ほどの繰り出しがあったと記憶していますが、改善していますか。</p>
事務局	<p>独法前については、基準外の赤字補填としての繰り出しはありましたが、独法移行後は繰出基準の範囲内での繰り出しとなっており、基準外繰り出しはない状況となっています。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症の流行が病院経営の改善の後押しとなったということですか。</p>
事務局	<p>独法に移行した令和2年4月と新型コロナウイルス感染症が流行し始めた時期が概ね同じタイミングであるので、要因の一つだと思います。</p>

委員	<p>オンライン会議が増えていることは非常にありがたく、これからも進めていきたいと思えます。</p> <p>オンラインのメリットを考えると、病気や心の病で不登校になっている子どもたちがオンラインで授業が受けられれば良いなと思えます。</p> <p>また、高齢者で言うと、施設によってまちまちですが、ご家族との面会ができないところもあり、オンラインが普及することで出会えることができます。また、理想的な話になりますが、対面であれば呼べないような方を講師に迎えて市民講座や赤とんぼ文化ホールなどで講演会が実施できれば、市民にとって有益かと思えます。</p>
委員	<p>前回の会議で、ひきこもりや不登校の子どもたちのことについて意見させていただきました。先ほど委員が不登校の子どもたちにオンライン授業を、と意見されたことに対して、このような想いを持ってくださいる方がいることをうれしく思えます。</p> <p>来年度から、たつの市でもひきこもりや不登校の方への居場所を提供するということや現在においても生活困窮者自立支援事業で相談窓口を置かれており、社会福祉士や精神保健福祉士の方につないでいるという説明を受けましたが、その後、その方たちはどうなったのか、追跡したデータを見てみたいなと感じました。</p> <p>私も3年前から不登校児童に対する支援活動をしています。相談に来られるのは保護者の方が多いです。</p> <p>特に、小学生や中学生は学校に行けなくなったことが不安で孤独に感じています。その孤独感を周囲に出せない子が多いです。保護者が相談に来られて、保護者の想いが子どもたちにどう伝わっているかが今後の取組のポイントになるのではないかと思います。</p> <p>現在、市が実施している適応教室などは子どもたちがそこに出ていることが前提となっています。</p> <p>兵庫県の調査によると、長期間自宅から出られない子どもは自宅で何をしているかという質問に対し、70%以上がゲームやインターネットをして過ごしているという回答結果が出ています。</p> <p>オンラインの手法を使ったひきこもり支援、不登校支援をたつの市の施策にも取り入れてはどうかと思えます。</p> <p>私が活動支援している中で、保護者しか参加できていない家庭の子に対してオンラインでゲームをすると呼びかけたことがありました。</p> <p>そうすると、普段外出できない子どもが外出できるようになりました。ゲームをしている子どもたちの楽しそうに遊んでいる姿が見られ、オンライン手法による支援活動は有効だと思えました。</p> <p>オンラインゲームの実施に当たり、危険性はありますが、大人がルールを守って運営することで安全に実施することができます。</p> <p>対面での人のつながりがまだできない子どもたちに、オンライン上で人とつながることの心地良さを感じてもらうことを、新しい支援の方法として考えてみてはどうかと思えます。</p> <p>学校だけでは保護できない部分を民間の力を使って、様々な方面から子どもた</p>

	<p>ちを孤独にさせない、居場所を作るといった取り組みを進めていただきたいと思います。</p> <p>コミュニケーションが多様化している中で、それぞれに適した形で検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>来年度事業において、不登校児童に対するサポートチームを作り、フォローしてこうとしています。また、引きこもりに対してのアウトリーチ型支援も実施していきます。今後、この2つの実績が出てきますので、報告できるようにしていきたいと思います。</p> <p>オンラインを使った支援については、ひきこもりの方にとっての居場所づくりや出会いが期待できると考えられますので、デジタル技術を使った事業を検討していきたいと思います。</p> <p>また、オンラインを使った事業実施については、経費削減が期待できますので、検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>資料P17の若者定住促進奨学金返還支援事業について、全国的に働き手が減少している中、たつの市の企業が働き手を確保する際、この制度を知っている場合と知らない場合ではPRの方法も変わってくると思うので、どんどん発信していくべきだと感じました。</p>
事務局	<p>当該事業は昨年秋から実施した事業であり、新しい事業となりますので、積極的に周知を図っていきたいと思います。</p>
委員	<p>当該事業は他の自治体では実施していない先進事例になりますか。</p>
事務局	<p>他自治体でも補助額は違いますが、実施しているところはあります。</p> <p>事業内容について、対象者は市民の方で、市内企業に勤める場合は10/10補助、市外企業に勤める場合は1/2補助となります。市外から働き手を確保する場合は対象外となります。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症が収まった後の行財政改革の取組について、たつの市民が夢や希望が持てるスローガンを掲げてほしいと思います。</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行により、冠婚葬祭や飲食などは大きく変わっています。市はコロナによって変化したことを市民に伝えていってほしいです。</p> <p>以前は、まちづくりの集いとして市と市民が対話する場がありましたが、市と市民が通じる場も必要だと思います。</p> <p>また、小学校の統廃合や中学校部活動の地域移行などが進められていますが、これらの取組に対し、子どもたち・保護者の声が反映されているのかなと思います。</p> <p>市民の希望ある声が届けられるような場を、コロナ後は作っていただきたいと思います。ということと、たつの市として夢と希望のあるPRをこれからもお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>PRについては、先日の別の会議でも、意見があり、例えば子育て支援においても、実施している事業はたくさんありますが、PRが不足しているのではないかという意見をいただきました。</p> <p>また、市長対話広場として、市長が市民団体の方の所へ出向き、市民の思い、希望をお聞きしています。</p>

	<p>昨年 11 月には市内中学生を対象に、市長が直接、中学生の想いを聞く場を設けさせていただきました。その中で、給食を一度食べてみてくださいという意見があり、先日中学校で市長が中学生と給食を食べ、また、中学生の想いを聞き、非常に良い会になったと聞いています。</p> <p>今後もこのような機会を利用し、皆さんの想いをお聞きし、意見を吸い上げていくとともに、このような取り組みを実施していることも PR していきたいと思えます。</p>
委員	<p>LINE の活用による情報発信について、以前、ホームページのサーバーダウンで情報が閲覧できなくなったことがあり、代替手段の提案をさせていただき、早速 LINE を導入されたことは素晴らしいと思えます。</p> <p>ただし、配信に関し、1 月末の未曾有の大雪の日に、大雪による施設の休館情報の外に、緊急性のない他の情報も配信されてきました。</p> <p>あのような日については、TPO を踏まえて、大雪に関する情報に絞って配信しないと、皆さんの LINE を見ようというモチベーションが上がらないと思うので、改善していただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>LINE の配信は、便利な反面、配信量が多いと流されてしまう場合があるので、的確な配信ができるよう努めていきたいと思えます。</p>